

いいづな遺跡発掘メモ10

常設展示の炉・カマドの製作バナシ 1

今回のリニューアル展示のテーマのひとつ「食べごと文化」にちなんで、縄文・古代・現代の炉とカマドを展示することになり、縄文の炉と古代のカマドは職員たちで作るようにとの特命(?)を受けました。ということで今回はその制作過程をお見せします。

この展示物、一見本物の土や石に見えますと思いますが、本体はサンテックフォームという梱包材の一種を材料として使用しています。このサンテックフォームを、設計図をもとにサイズを決めてカッターで部材を切り出し、肉付けをしたり削ったりして、炉やカマドの形に組んでいます。



完成したカマドの中をのぞく



過去の発掘調査で出土した遺構の実測図をもとに設計図を作成



カットしたサンテックフォーム 一直線に切るのが大変

サンテックフォームは本体の大きさが、縦 240 cm・横 80 cm・厚み 5 cm ほどの大きな 1 枚板です。これを使いたい大きさに切るのがなかなか大変で…加工はしやすいのですが、さっと切れるわけではないので押さえる人切る人、それぞれ役割を決めながら 2 人がかりで悪戦苦闘しました。

切ったら次は組み立て・接着をしていきます。他館の方に助言をもらい、試行錯誤しながら作業を進めました。接着剤も乾くまで一晩はおかなければならず、これまた時間のかかる作業です。

ここからいよいよ製作作業が本格的になります！

▶写真が載せきれないので、パート2に続く。

いいづな遺跡発掘メモ 10
(令和 7 年 6 月 26 日発行)
教育委員会生涯学習係 担当：福井
Tel : 026-253-6646
Fax : 026-253-6649
Mail : gakushu@town.iizuna.nagano.jp
HP : <http://www.town.iizuna.nagano.jp/>